

## コサージュ

Corsage

KUNST ARZT では、池内美絵の個展を開催します。

池内美絵は、生きる事の本質を観察、研究、表現するアーティストです。約 600 匹のヤスデの飼育、博物館を楽しむための活動「MUSUME」、「KOBE 喫茶探偵団」などと並行して、飲み込んで排泄後、組み立てた人形「アリス (2008)」、精液の染み込んだティッシュで制作した「リース (2009)」、自身の尿で育てた「サフラン (2005)」・・・。一見「かわいい」と思わせておいて、素材や背景を知ってしまった鑑賞者の脳裏からは消去しがたい“怪作”を制作し続けています。

本展では、「あいちトリエンナーレ」で表現の自由問題に巻き込まれた「百代の过客」展 (2019) において、会場に置かれた抗議ビラから作った新作「コサージュ」の初展示になります。天皇家の紋章である菊の形状に作られており、コサージュが祝い事の場で貴婦人が付けるものだったという由来を知ると、一方的な暴力の残骸が美を伴った強いメッセージとなって突き返されていることに気がきます。

(KUNST ARZT 岡本光博)



コサージュ (2020)

### 経歴

- 1973 愛知生まれ、愛媛育ち
- 1994 嵯峨美術短期大学 美術専攻 陶芸コース卒業
- 1996 同短期大学 専攻科 三次元表現コース卒業
- 1997 同短期大学 総合美術研究所研究生修了

### 主な展覧会等

- 1995 個展「Final concert」阿波堀ビル (大阪)
- 1996 個展「hi-jack-et」CLOSET GALLERY (大阪)
- 1998 個展「十二夜」VOICE GALLERY (京都)
- 2003 個展「Normal Life」UFO (フィリピン、マニラ)
- 2006 個展「gift」PANTALOON (大阪)
- 2009 イベント「虫愛する一日 in 京都」ガケ書房 (京都)
- 2012 個展「池内美絵展」Calo Bookshop & Cafe (大阪)
- 2014 個展「ブローチと、ここ数年」ミミヤマミシン (大阪)
- 2014 「身につけるアート / 持ち運ぶアート vol.3」Calo Bookshop & Cafe (大阪)
- 2015 「かつらをかぶった雀蜂」ART SPACE ZERO-ONE (大阪)
- 2015 「Face Forward」KUNST ARZT (京都)
- 2015 個展「Alice2015」SOMA gallery (大阪)
- 2018 個展「生きるためのなにか」嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学附属博物館 (京都)
- 2019 「百代の过客」ART BASE 百島 (広島、尾道)
- 2020 「ATELIER LSDF 榎忠・池内美絵展」ATELIER LSDF (神戸)
- 2020 「おかんアートと現代アートをいっしょに展示する企画展」京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA (京都)

2021年10月12日(火)から17日(日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都東山区三条神宮道北東角 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

アーティスト・ステートメント

2019年秋に、尾道沖の離島、百島にあるART BASE百島の企画展「百代の过客」に参加しました。この年は「あいちトリエンナーレ」で表現の自由に関する問題が起きた年でした。企画内容に重なる部分があった百代の过客展にもその動きが飛び火し、私の作品(の素材)も抗議材料に取り上げられ、会場には抗議ビラも置かれました。会期後、持ち帰ったそのビラでコサージュを作りました。ビラの作成者よりも長い時間向き合ったかもしれません。このコサージュと、ART BASE百島より刊行された記録冊子「百代の过客」を合わせて展示します。



アリス 2008年  
飲み込み、排泄後、組み立てた人形 樹脂粘土 他



リース 2009年  
ティッシュ、精液



サフラン 2005年  
作者の尿で育てたサフラン 他



彼岸花 2019年  
ティッシュ、血液  
\*撮影はすべて 高嶋清俊